

令和6年度 准校長あいさつ（web版）

昨年度より引き続き、准校長（高等部の校長）を拝命しました、南 貴子（みなみ たかこ）です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



令和5年度は、感染症対策を施しながらも、コロナ禍からの脱却に向けて、さまざまな教育活動について、慎重に検討しつつ推し進めた一年でした。

授業や行事等の方法を、単純にコロナ禍前に戻すのではなく、児童生徒にとって意味のある充実したものにブラッシュアップしながら「明日も来たくなる学校づくり」に取り組んでいく所存です。

さて、本校高等部においては、普通課程（主に肢体不自由の課程）と生活課程（主に知的障がいの課程）があり、在籍する生徒のみなさんの課題や目標が、課程によっても異なることから、それぞれの卒業後、それぞれの社会参加について、早い段階から考える必要があります。

今年度からは、生徒のみなさんや保護者の皆さまが、具体的に卒業後の未来にイメージを持っていただけるように、自立活動やキャリア発達へのアプローチを基本においた授業はもとより、18歳成人を見据えた消費者教育や、社会の仕組み（福祉施設の利用法など）を知る授業、余暇活動につながる授業などの充実をはかります。また、進路指導においては、見学したい事業所などに保護者さまが直接申し込む「セルフ見学会」や、1年生からの現場実習も行う予定です。

校内組織においては、日常の課題について、より迅速に対応することをめざし、これまで高等部全体で1人だった部主事を、生活課程と普通課程に1名ずつ配置し、学年主任も課程別に配置しました。保護者のみなさまと学校が、お子さまの成長と卒業後の社会参加に向けて、共に協力しながら、きめ細やかな支援・指導ができるように、また、地域のみなさまとつながり、やがて地域で暮らす子どもたちの将来が、安心できるものとなるように、学校ができること、学校でしかできないことを探求してまいります。

ぜひ、本校教育活動についての忌憚ないご意見をお聞かせいただき、一緒に子どもたちを支え、育てていただきますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月1日
大阪府立茨木支援学校
准校長 南 貴子